

「医療的ケア児等支援者養成研修会」受講生募集

 医療の進歩に従って医療的ケア児が増えつつあります。医療的ケア児が地域で生活するに当たり、さまざまな支援を必要としますが、担当する支援者が不足する現状にあります。そのような状況を鑑みて、厚生労働省からの指導に従って支援者養成研修会を企画いたしました。

1. 目的：地域の支援者が医療的ケア児等の現状について理解して、それぞれの立場でどのように支援していけばいいのかを一緒に考えると共に、実行に移す事のできる支援者を養成する。
2. 対象：医療的ケア児等に関わる神奈川県域（原則として政令市除く）の関係職種
3. 日時・会場： 第1回 平成30年10月7日（日）・8日（祝）
 神奈川県総合医療会館 2階会議室（横浜市中区富士見町3-1）
 第2回 平成30年11月23日（祝）・24日（土）
 茅ヶ崎市立病院 会議室（茅ヶ崎市本村5-15-1）
 ※ それぞれ2日間、2回とも同じ内容の研修なのでご都合のよい日程にご参加ください。
4. 募集定員：各回60名
5. 修了証：全講義日程を修了した受講生には神奈川県から修了証が発行されます。
6. 参加費：3,000円（当日受付で承ります）
7. 申込方法：下記の「申込フォーム」よりお申し込みください。（日程により別フォーム）

<p>第1回 10月7日（日）・8日（祝）</p>  <p>https://kokucheese.com/event/index/532723/</p>	<p>第2回 11月23日（祝）・24日（土）</p>  <p>https://kokucheese.com/event/index/532790/</p>
---	---

8. プログラム

日目	時間	科目	内容
1日目	8:50 - 9:00	ご挨拶	事業の説明と事務連絡
	9:00 - 10:00	総論	新生児医療と医療的ケア児の現状
	10:10 - 11:10	医療	障害児の特徴と障害受容
	11:20 - 12:20		疾患の特徴と救急対応
	12:20 - 13:30	昼休憩（在宅医療機器等の企業展示）	
	13:30 - 14:30	医療	退院支援
	14:40 - 15:40		訪問看護の仕組みと役割
15:50 - 16:50	福祉	本人・家族の思いの理解	
2日目	9:00 - 10:00	福祉	こどもの福祉制度・サービス
	10:10 - 11:10		日常支援と緊急時の準備
	11:20 - 12:20	連携	多職種連携・協働の必要性
	12:20 - 13:30	昼休憩（在宅医療機器等の企業展示）	
	13:30 - 14:30	ライフ ステージ	障害児の発達とライフステージ
	14:40 - 15:40		学校における支援と課題
15:50 - 16:50	支援	遊びをもとにした支援	

※ 2日間とも、受付は8:30です。

問合せ先：神奈川県立子ども医療センター経営企画課
 大野 <oono.18030@kanagawa-pho.jp>
 電話 045-711-2351（内線 2268）

【参考図書】

厚労省が研究班を立ち上げて、本研修事業について議論を重ねた過程で作上げられたものです。本研修会では、各講師の作成した資料を使ってそれぞれの講習を行います。資料作成段階で下記書籍の内容を盛り込みつつ、神奈川県状況に合わせた内容にいただいています。

「医療的ケア児等支援者養成研修テキスト」

<https://www.chuohoki.co.jp/products/welfare/5473/>

著者：末光茂、大塚晃
出版社：中央法規
価格：3,240 円（税込み）



目 次

第1章 総論	・ 医療的ケア児等支援の特徴 ・ 支援の根底にある考え
第2章 医療	・ 障害のある子どもの成長と発達の特徴 ・ 疾患の特徴 ・ 生理 ・ 日常生活における支援 —特徴と重要な合併障害への医学的理解を 日常生活支援 ・ 救急・準救急時の状態・症状・対応 ・ 訪問看護の仕組み
第3章 福祉	・ 支援の基本的枠組み ・ 医療的ケア児等と制度 ・ 遊び、子どもらしさ、保育 ・ 医療的ケア児等の家族支援 ・ 医療的ケア児等の生活と虐待
第4章 連携	・ 小児在宅医療における多職種連携 ・ 連携・協働の必要性
第5章 ライフステージにおける支援	・ 各ライフステージにおける 相談支援に必要な視点 ・ NICUから在宅に移行する子どもたち ・ 児童期における支援 ・ 学齢期における支援 ・ 成人期における支援 ・ 医療的ケアの必要性が高い子どもへの 支援
第6章 資料	・ 在宅医療的ケア児等サポートブック